



いばらきしりつぶんかざいしりょうかん

いばらきの 歴史を探ろう!

古代

編



Ibaraki Municipal Cultural Properties Depository

茨木市立文化財資料館

西暦	主な日本の出来事	いばらきの歴史
592	すいこ 推古天皇が即位し、 しょうとくたいし 聖徳太子と そがのうまこ 蘇我馬子が政治をたすける	
604	十七条憲法ができる	
622	聖徳太子が亡くなる	
644		なかとみのかまたり 中臣鎌足、 みしま 三島の地に退居する
645	たいか 大化の改新	
646	はくそうれい 薄葬令が制定される	
669		中臣(藤原) 鎌足が亡くなる あぶやま 阿武山古墳・ はつた 初田1号墳がつくられる おおだ 太田・ ほづみ 穂積・ みやけ 三宅(廃) 寺がつくられる
701	たいほうりつりょう 大宝律令が制定される	
708	わどうかいちん 和同開珎がつくられる	
710	平城京に都を移す	
711		しましものごおり 島下郡の都亭駅が とていえき 殖村に置かれる
723	さんぜいつしん 三世一身の法が制定される	
743	こんでんえいねんし 墾田永年私財法が制定される	
752	東大寺の大仏が完成する	
753	がんにん 鑑真が日本に渡ってくる	
794	平安京に都を移す	
851		さんちょう 三澄が にんじょうじ 忍頂寺を建てる
886		ふじわらのやまがす 藤原山陰が そうじじ 総持寺を建てる
927	えんぎしき 『延喜式』ができる(967に施行)	『延喜式』に市内の神社13座の名が記される
935	たいらのまさかど 平将門が一族と争う(939に乱)	
931～938頃	わみょうるいじゆしやう 『和名類聚抄』ができる	『和名類聚抄』に、 にいや 島下郡新野・ すく 宿人(久)・ あい 安威・穂積の地名が記される
1016	ふじわらのみちなが 藤原道長が せつしやう 摂政となる	
1156	ほうげん 保元の乱がおこる	
1159	へいじ 平治の乱がおこる	
1167	たいらのきよもり 平清盛が だいいじやうだいじん 太政大臣となる	
1185	平家が滅亡する	
1192	みなもとのよりとも 源頼朝が征夷大将軍となる	

遺跡マップ

遺跡・史跡

- 1 忍頂寺
にんじょうじ
- 2 阿武山古墳
あぶやまこふん
- 3 桑原古墳群
くわのはら
- 4 地福寺
ぢふくじ
- 5 初田1号墳
はつたいちごうふん
- 6 大念寺
だいにんじ
- 7 真龍寺
しんりゅうじ
- 8 将軍塚古墳
しょうぐんづか
- 9 太田廃寺
おおだはいじ
- 10 薬王寺
やくおうじ
- 11 総持寺
そうじじ
- 12 郡遺跡
こおりいせき
- 13 穂積廃寺
ほづみ
- 14 勝光寺
しょうこうじ
- 15 蓮花寺
れんげじ
- 16 三宅廃寺
みやけ

式内社

- 1 阿為神社
あゐ
- 2 新屋坐天照御魂神社(西福井)
にいやにいますあまてるみたま
- 3 須久々神社(宿久庄)
すくく しゅくくのしょう
- 4 新屋坐天照御魂神社(宿久庄)
- 5 須久々神社(現在は春日神社)
- 6 太田神社
- 7 新屋坐天照御魂神社(西河原)
- 8 牟礼神社
むれ
- 9 天石門別神社
あまのいわわけ
- 10 溝咋神社
みぞくい
- 11 佐和良義神社
さわらぎ
- 12 井於神社
いのへ

現在、②④⑦ 新屋坐天照御魂神社は「にいやにますあまてるみたま」神社
⑫井於神社は「いの」神社と呼ばれています。



彩都西駅

豊川駅

JR 総持寺駅

阪急総持寺駅

JR 茨木駅 阪急茨木市駅

宇野辺駅

阪急・大阪モノレール
南茨木駅

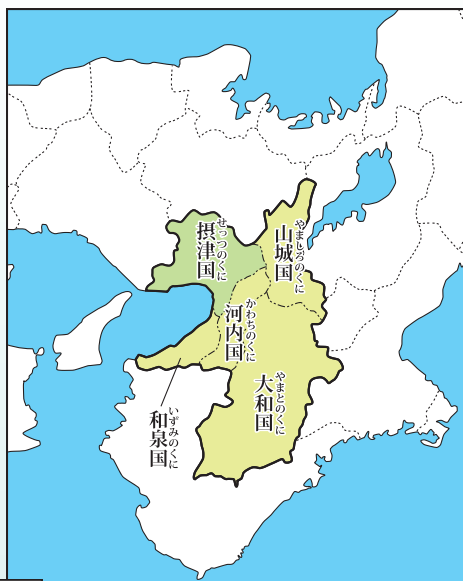
沢良宜駅

茨木市立
文化財資料館

古代のいばらき

古代とは、^{あすか}飛鳥、^{なら}奈良、^{へいあん}平安時代をさします。この時代のいばらきはどんなところだったのでしょうか？古代の地図を見てみましょう。

^{せつつのくに}いばらきは^{しましものこおり}摂津国の島下郡
というところにあつたんだ。
現代に都道府県があるよう
に、古代には国という範囲が
あつたよ。



古代の国(畿内)

島下郡は現在の茨木市、^{せつつ}摂津市、^{すいた}吹田市などを含
む地域だよ。郡はいまの
市町村みたいなイメージ
だね。



摂津国の郡

中臣鎌足といばらき

たい か かい しん 大化の改新

なかとみのかまたり

中臣鎌足(のちの藤原鎌足)は、
なかのおおえのおうじ てん じ
中大兄皇子(のちの天智天皇)とともに
そ が し
に蘇我氏をほろぼし、天皇を中心
とする国づくりを進めました。

中国の制度(りつりょうせい
律令制)を手本にし
ながら、新しい政治のしくみがと
とのえられていきました。

人々や土地は国のものとなり、
おさ
人々が納める税の制度も統一され
ました。



ち ふく じ
この絵は地福寺に伝わっ
ている絵だよ。鎌足と二
人の息子(じょうえ ふ ひ と
定慧と不比等)
が描かれているんだ。



たいしよつかん
大織冠像 所蔵：地福寺

いばらきにあった三島別業

み しまのべつぎょう

鎌足は大化の改新の前年、政治からいったん引退して
三島別業(別宅)に住んでいました。この三島別業は現在の
茨木市(さわらぎ)沢良宜周辺にあったと考えられています。

鎌足がいばらきに住んでいたなんてびっくりだね！



鎌足の墓・阿武山古墳

あぶやま じしんかんそくじょ
阿武山にある地震観測所の
そばに阿武山古墳があります。

この古墳は鎌足の墓だと考え
られており、うるしをぬり重ねて
つくられた棺には、じんこつ
もにたくさんの金の糸やガラ
ス玉などが入っていました。人骨は40～60歳の男性で、肋骨
や脊椎を折ったけがのあとがありました。



阿武山古墳遠景

や脊椎を折ったけがのあとがありました。

この人は、大けがのせいで亡くなったのかも
しれないね。



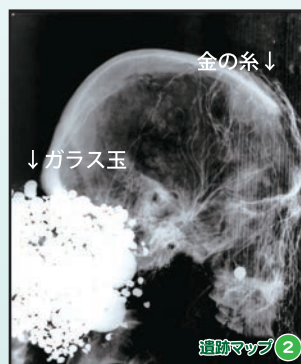
棺の内部

写真提供：京都大学総合博物館



肋骨と脊椎

写真提供：京都大学総合博物館



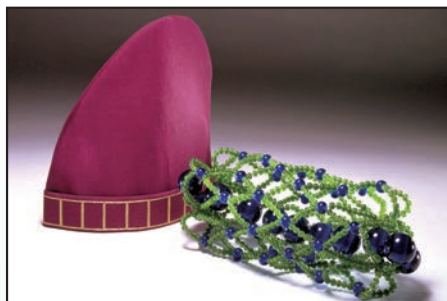
金の糸とガラス玉

写真提供：京都大学総合博物館

X線写真で、骨折の状態、金の糸
が顔にかかっているようすや、た
くさんの玉をつないで作った枕
があることがわかったのよ。



見つかった金の糸やガラス玉から、^{かん ぼう}冠帽と^{たままくら}玉枕が復元されたよ。



復元された冠帽と玉枕

所蔵・写真提供：奈良文化財研究所

当時、金の糸やガラス玉は貴重なものだったのよ。



遺跡マップ 8

しょうぐん つか 将軍塚 古墳

鎌足の墓とされていた古墳です。江戸時代には鎌足の子孫である九条家から使者が来て、毎年お参りをしていました。

いばらきには、鎌足の伝承が多く伝わっています。
それだけ、鎌足と関係が深い土地だった証拠ですね。



遺跡マップ 6

だいねんじ 大念寺

鎌足が創建したと伝わっているお寺です。



遺跡マップ 4

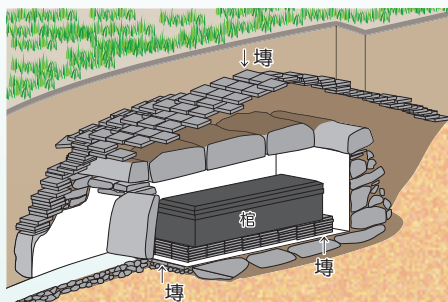
ちふくじ 地福寺

^{じょうえ}鎌足の子である定慧（4頁「大織冠像」右下の人物）が開いたと伝わっているお寺です。

古代の古墳

古代になってもしばらくは、阿武山古墳のように古墳がまだつくられていました。いばらきには、この時代の主な古墳に^{はつ た}初田古墳群や^{くわのはら}桑原古墳群などがあります。

この時期のいばらきの古墳には、^{せん}塼が使われることが多いんだ。



古墳に使用されている塼



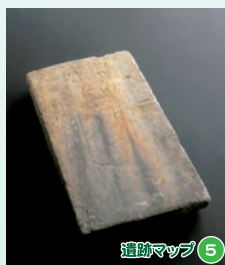
阿武山古墳出土塼

所蔵：京都大学総合博物館 写真提供：高槻市教育委員会



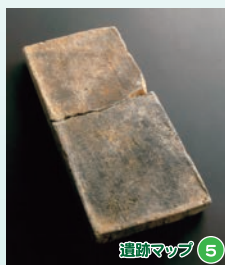
初田1号墳石室床面の塼のようす

所蔵・写真提供：大阪府教育委員会



初田1号墳出土塼

所蔵・写真提供：大阪府教育委員会



桑原古墳群出土塼

所蔵・写真提供：大阪府教育委員会

塼とは、正方形や長方形の分厚い板状をしているレンガのようなものじゃ。古墳やお寺で使用されていたんじゃよ。



古代の税

大化の改新では、それまで天皇や豪族のものだった人々や土地をすべて国のものとし、人々は国に税を納めるように定められました。税は租・調・庸の3種類がありました。租は米、調は布・絹またはその土地の特産品、庸は労働または布・米などです。



古代のいばらきはどんなものを調として納めていたのかしら？

『延喜式』(平安時代につくられた規則)を見れば、それぞれの国から何を納められていたのかがわかりますよ。



摂津国の調

薦…むしろ(草で編んだ敷物)

櫃…蓋が上に開く大きな箱

筥・瓮・坏・椀…容器の種類

※代わりにお金で納めることもできました

いばらきがあった摂津国では、むしろやさまざまな容器を納めていたんだね。



古代の役所

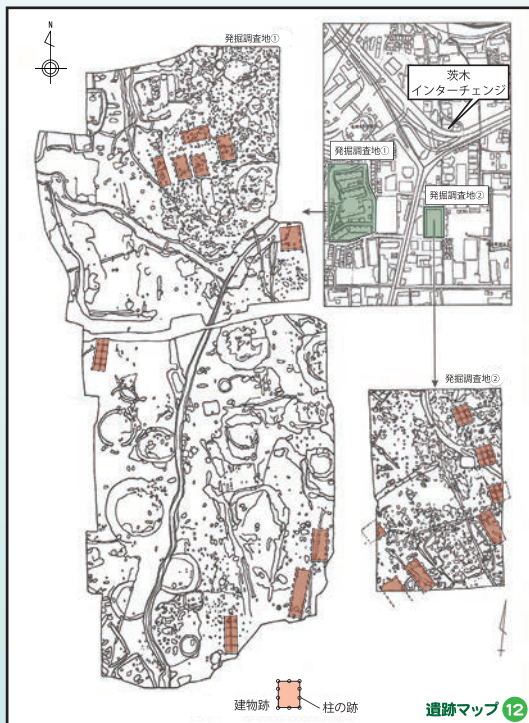
現代の都道府県や市町村に役所があるように、古代にも国には^{こく}国府、郡には^{ぐう}郡家と呼ばれる役所がありました。

^{せつ}摂津国の国府の場所はまだわかっていませんが、^{しましものこおり}島下郡の郡家は現在の茨木市^{こおり}郡付近にあったのではないかと考えられています。

郡という地名は、^ゆ島下郡の郡家に由来すると考えられているよ。
^{こおり い}郡遺跡では、発掘調査でいくつもの建物跡が見つかっていて、
それらは古代の公共的な建物だったと考えられているんだ。



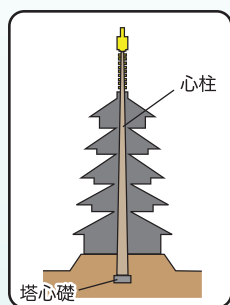
郡家には、^{ぐん}郡司(郡のリーダー)が政治をする建物や、納められた税を保管する倉庫、宿泊用の建物などがあつたんじゃ。



郡遺跡で見つかった建物跡の配置

古代寺院

古代では、仏教を国内に広めるために各地でお寺が建てられました。その代表的なものに、^{しょうとく たい し}聖徳太子が建てた^{ほうりゅう}法隆寺があります。いばらきでも、7世紀代に^{おお だ}太田、^{みや け}三宅、^ほ穂積にお寺が建てられました。これらのお寺は現在、残っていません。



仏塔の断面イメージ

^{とう しん そ}太田廃寺の塔心礎には^{せきせい}石製、^{どうせい}銅製、^{ぎんせい}銀製、^{きんせい}金製の容器が入れ子状になった^{い こ じょう}舍利容器が納められていたのよ。



^{しゃ か}舍利は、釈迦の骨のことをいうんですよ。



太田廃寺の塔心礎と舍利容器（模型）



舍利容器（模型）



遺跡マップ 9

太田廃寺の瓦

行基といばらき

ぎょう き
行基は、奈良時代に仏教を人々に広めた僧です。日本の各地に寺院、ため池や橋、生活がまずしい人を助ける施設をつくり、^{しょう む}聖武天皇の大仏づくりにも協力しました。行基に関する^{でん しょう}伝承は各地に残っており、いばらきにもいくつかあります。どこにあるのかを見てみましょう。



しょうどうじ
勝光寺

行基がつくった^{さいほうじょうどじ}西方浄土寺の奥の院であったと伝わっています。

遺跡マップ 14



やくおうじ
薬王寺

行基が伊勢神宮へのお参りの途中に霊地を見つけ、その場所につくったと伝わっています。

遺跡マップ 10



れんげじ
蓮花寺

行基が不思議な光を発する池を見つけ、その場所につくったと伝わっています。

遺跡マップ 15



しんりゅうじ
真龍寺

行基が役行者の修行していた場所にお堂をつくったのが始まりと伝わっています。

遺跡マップ 7

いばらきには、行基の伝承が多く残っているよ。
なんだか行基を身近に感じるね。



いばらきの勅願寺

古代には、仏教の力で国をよくしようとする考え方がありました。天皇が国の平和や皇室の繁栄を願うための寺を勅願寺といいます。いばらきには、おもな勅願寺が2つあります。



遺跡マップ ①

忍頂寺

9世紀に僧の三澄^{さんちよう}によってつくられました。忍頂寺という名前は清和天皇^{せいわ}からたまわりました。



遺跡マップ ⑪

総持寺

9世紀に藤原山陰^{ふじわらのやまかげ}によってつくられました。一条天皇^{いちじよう}の時代に勅願寺になりました。



遺跡マップ ⑪

そうじ じ えん ぎ え まき かいほうゆうせつ
総持寺縁起絵巻(海北友雪筆) 所蔵：総持寺

総持寺縁起絵巻には、藤原山陰が総持寺をつくる物語が描かれていて、山陰の父親が淀川^{よどがわ}で亀を助ける場面から始まるんですよ。



いばらきの式内社

平安時代につくられた『延喜式神名帳』^{えんぎしきじんみょうちょう}に名前が書かれて
いる神社を式内社^{しきないしゃ}と呼びます。



あ い
阿為神社



にいやにいますあまてる みたま
新屋坐天照御魂神社 (西福井)



す く く しゅくのしょう
須久々神社 (宿久庄)



新屋座天照御魂神社 (宿久庄)



須久々神社 (現在は春日神社)



太田神社



いばらきには、島下郡の式内社 17 座のうち 13 座があるよ。あとの 4 座は吹田市や豊能町などにあるのよ。

写真には 12 座しかありませんけど、
耳原にあった幣久良神社^{みたくら}は明治 41 年 (1908 年) に阿為神社へ移されて、いっしょにまつられていますよ。





新屋坐天照御魂神社（西河原）

遺跡マップ 7



むれ
牟礼神社

遺跡マップ 8



あまのいわとわけ
天石門別神社

遺跡マップ 9



みぞくい
溝咋神社

遺跡マップ 10



さわらぎ
佐和良義神社

遺跡マップ 11



いのへ
井於神社

遺跡マップ 12

～神話にみる式内社に祀られている神々～

いばらきの式内社で祀られている神々が、奈良時代に成立した『古事記』
 や『日本書紀』に記された神話に登場します。溝咋神社が祀る玉櫛姫は三嶋
 溝咋（溝咋耳命）のとても美しい娘として登場し、五十鈴姫を産んだとされて
 います。茨木市内にある玉櫛、五十鈴という地名と縁があります。

キャラクター紹介



● **いすずちゃん**
いばらき生まれのおひめさま。めずらしいものや新しい発見が大好き。



● **たまくしひめ**
いすずちゃんのお母さん。怒ると大雨をふらせる。

● **みぞくいみみのかみ**
いすずちゃんのおじいさん。村の長老。



● **かまたりくん**
いばらきを愛する男の子。とても物知り。趣味は日本の未来を考えること。



● **ひがしならくん**
元気な弥生人の男の子。ごはん(お米)を食べるのが大好き。銅たく製作工房の見習い。

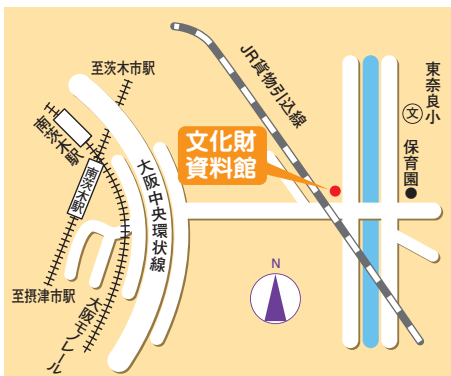
利用案内

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 毎週火曜日(その日が祝日の場合を除く。)
祝日の翌日(その日が日曜日の場合を除く。)
12月29日～翌年1月3日

入館料 無料

お願い 他の見学者に迷惑のかからないように静かにご覧ください。



茨木市立文化財資料館

〒567-0861
茨木市東奈良三丁目12番18号
電話 (072) 634-3433
FAX (072) 637-4745
市ホームページ
<https://www.city.ibaraki.osaka.jp>
阪急・大阪モノレール南茨木駅下車
東へ300m



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



このパンフレットは5,000部作成し、1部あたりの単価は59.68円です。